

## 1. 基本的な方向性（基本構想）

## 1. 仙台ブランドの発信拠点 【世界とつながる】

- ◇新本庁舎低層部等と連携した大規模イベント空間の形成
- ◇杜の都のブランドに寄与する統一されたデザインの導入
- ◇杜の都らしさの豊かな緑（保存樹林、河岸段丘）と文化の継承

## 2. 多彩な市民活動による交流と創造の場 【人がつながる】

- ◇新本庁舎低層部や周辺公園広場との連携と分担
- ◇多様な市民活動を展開できる広場の再配置・機能拡充
- ◇広場と周辺民間ビルとが調和した空間の形成

## 3. 都心のサードプレイス 【心がつながる】

- ◇親しみやすく開放感のあるデザインの導入
- ◇くつろぎや賑わいを創出する都心部の芝生広場形成
- ◇憩いの空間を創出する植栽・照明デザインの導入

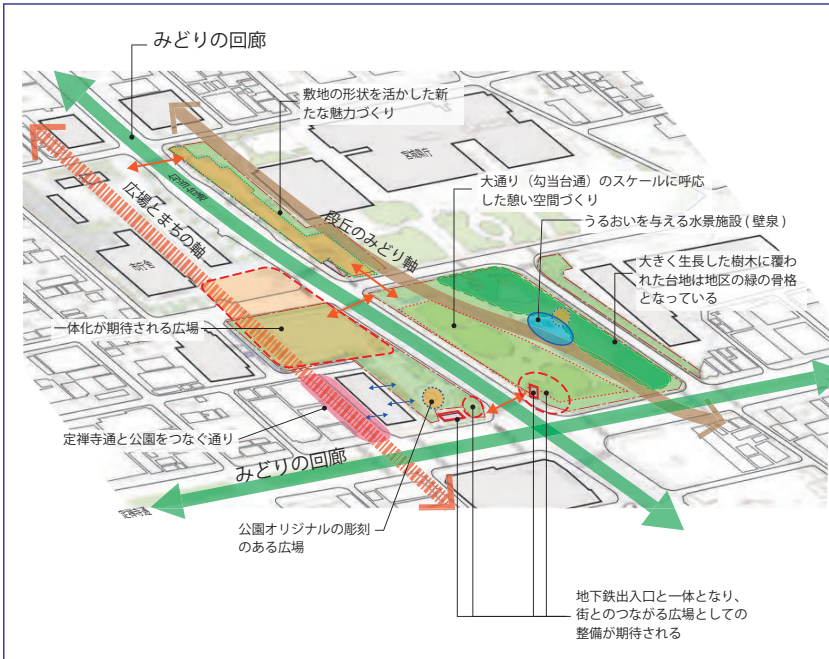
## 4. みどりの回遊拠点 【街がつながる】

- ◇回遊性を高めるエントランス機能の確保
- ◇歩道と連続したみどりの空間の形成
- ◇滞留性を高める施設の導入

## 5. エリアマネジメントの展開 【時がつながる】

- ◇周辺施設と連携したエリアマネジメントの検討
- ◇P-PFIを活用した民間企業との連携
- ◇公園活動団体設立の検討

## 2. 整備条件分析（軸の構成、空間特性と課題）



## 3. 再整備計画テーマ（基本的な方向性ごと）

## 【世界とつながる】

- 本庁舎南側広場と一体化による大規模イベント会場として活用

## 【人がつながる】

- 市民による音楽・パフォーマンスを通じた交流の場としての野外ステージの活用
- 交流を誘発するまちに開かれた広場としての活用

## 【心がつながる】

- リニアな敷地形状を活かした新たな施設導入による街中スポットづくり
- 街中景観を楽しみながら滞留できる緑に囲まれた居場所づくり
- 民間施設との一体化による魅力ある滞留スペースづくり
- 斜面や水景施設、彫刻のライトアップなど夜景づくり

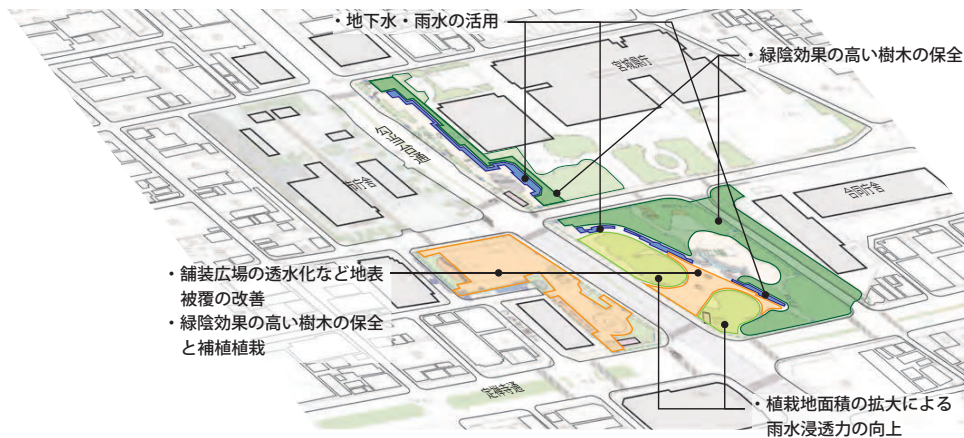
## 【街がつながる】

- 都市を彩る多様な緑の景づくり
- 緑の回廊の骨格となる緑の保全
- 市庁舎とつながる地下連絡通路
- 周辺との一体整備により都心エリアの軸をつくる
- 街とつながり回遊性を高める結節点

#### 4. 広場の性格づけ、空間ゾーニング、動線計画、グリーンインフラ方針

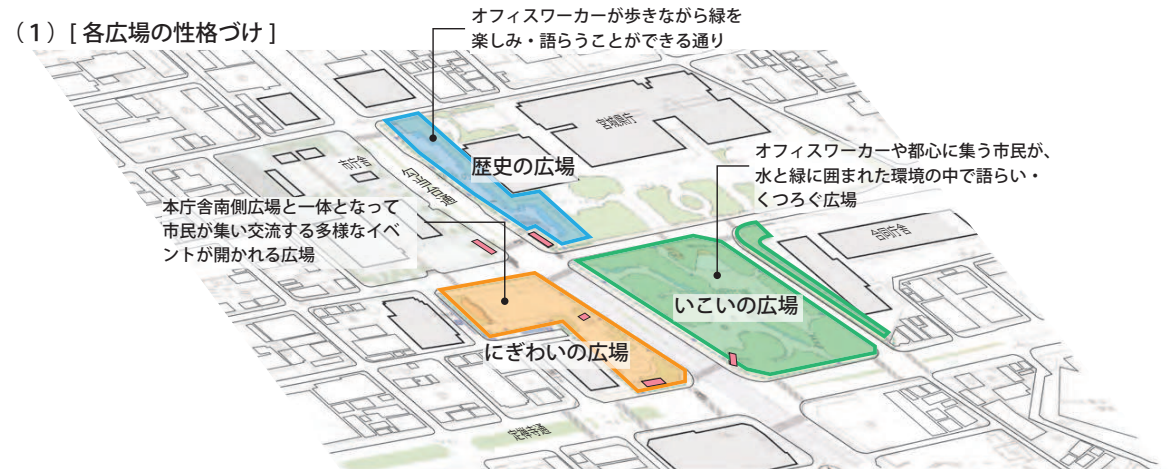
広場区分	立地と環境特性
にぎわいの広場	表小路を挟んだ本庁舎街区の南側に位置している。 本庁舎前広場と一体となって大規模なイベント会場としての活用が期待されている。 公園が市庁舎街区と定禅寺通を結ぶ役割を果たすことで、都心地区一帯での人の流れを生みだし、街の回遊拠点となることが期待されている。
いこいの広場	勾当台通の東側、段丘斜面により上下二段に分節させた敷地となっている。 段丘下の低地部は、勾当台通りに沿った平坦で広がりのある広場となっている。 段丘上部は、大きく成長した樹木で覆われた森の広場。 合同庁舎西側に沿った大木の合間を縫う小路。
歴史の広場	南北にのびる帯状の敷地形状。 段丘の地形差を活かし、敷地東側に雁行する石垣を設け上部は濃い緑の林がつけられている。 地下鉄出入口とバス停があり公共交通の便が良く、週日はオフィスワーカーの往来が多い通り。

#### (4) [グリーンインフラ方針]

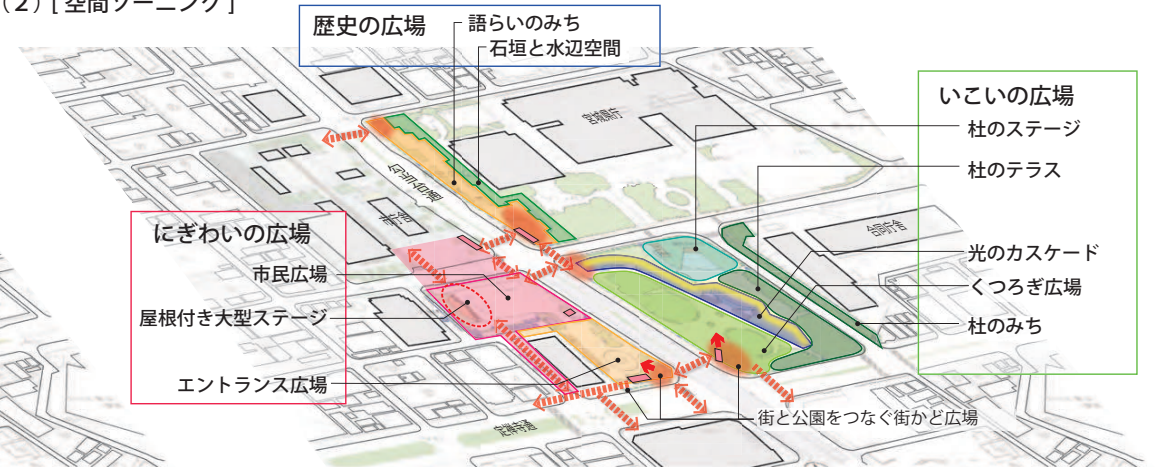


広場	まちかど	結節区分		
		地区外と結ぶ	周辺街区と結ぶ	広場を結ぶ
にぎわいの広場	1-1	○		
	1-2	○	○	
	1-3		○	○
いこいの広場	2-1	○	○	○
	2-2		○	○
	2-3		○	
	2-4		○	
歴史の広場	3-1	○	○	○
	3-2		○	○

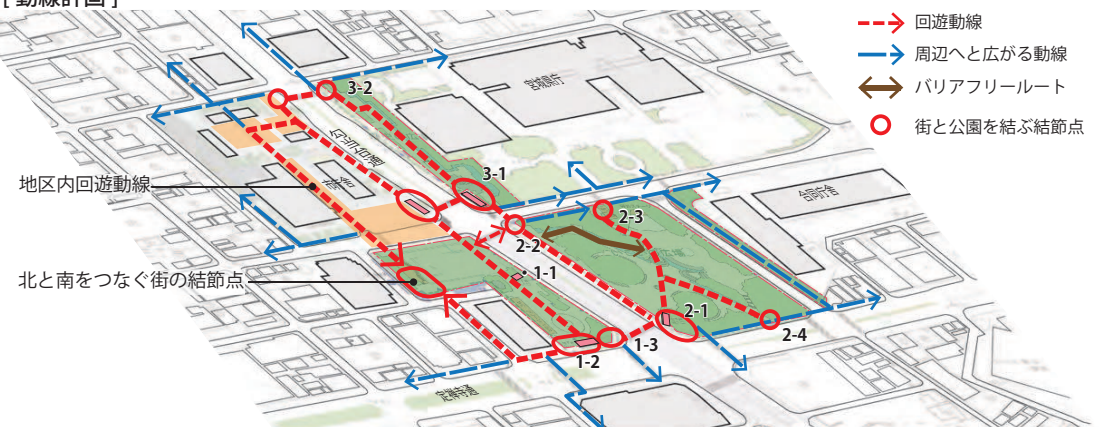
#### (1) [各広場の性格づけ]



#### (2) [空間ゾーニング]



#### (3) [動線計画]



# 5. 空間ゾーニングと整備の方向性

## 歴史の広場

- ・語らいのみち  
通行者が一休みし、一刻を過ごす場が組み込まれた径空間。歩道空間との分断を解消

- ・石垣と水辺空間  
段丘の緑軸を顕在化する石垣と緑

P: 不明

P: バトンルージュ, アメリカ

P: 不明

市民広場の利用イメージ  
<大規模エンターテインメントイベント時>

観覧スペース

常設メインステージ

<大規模マーケットイベント時>

イベントスペース

小ステージ

### [空間ゾーニング]

歴史の広場

にぎわいの広場

いこいの広場

表小路  
本庁舎南側広場と市民広場の一体化に配慮し、広場と合わせた舗装材とするなどの整備を検討する。

つなぎ横丁  
市庁舎から商業街区へとのびる南北軸の強調と市民広場との一体的利活用も可能な街路デザインを検討する。

凡例

街か街広場

## いこいの広場

- ・杜のステージ  
誰もが利用できる音楽とパフォーマンスのステージ



仙: 札幌芸術の森, 北海道

- ・杜のテラス  
ウッドデッキがちりばめられた森



P: 皇のや富士, 山梨

- ・光のカスケード  
崖線の植栽と壁泉を照らす光と彩植栽で演出



新宿中央公園, 東京



深川ギャザリア, 東京

## にぎわいの広場

- ・市民広場  
本庁舎広場との一体となって大規模なイベント利用に対応する平坦で広がりのある広場



P: トランブレ=アン=フランス, フランス

- ・屋根付き大型ステージ  
本庁舎と定禅寺通、商店街区とを結ぶ街の結節点



仙: 木曾三川公園, 岐阜県

- ・民間ビル施設と一体となって、軽飲食・語らいができるテラス



P: コレド室町, 東京

- ・エントランス広場  
街角広場と一体となって、待ち合わせやちょっとした語らいの場となる広場



P: アメリカ

## 街かど広場

交差点や地下鉄出入口に設けられているまちと公園を結ぶ広場



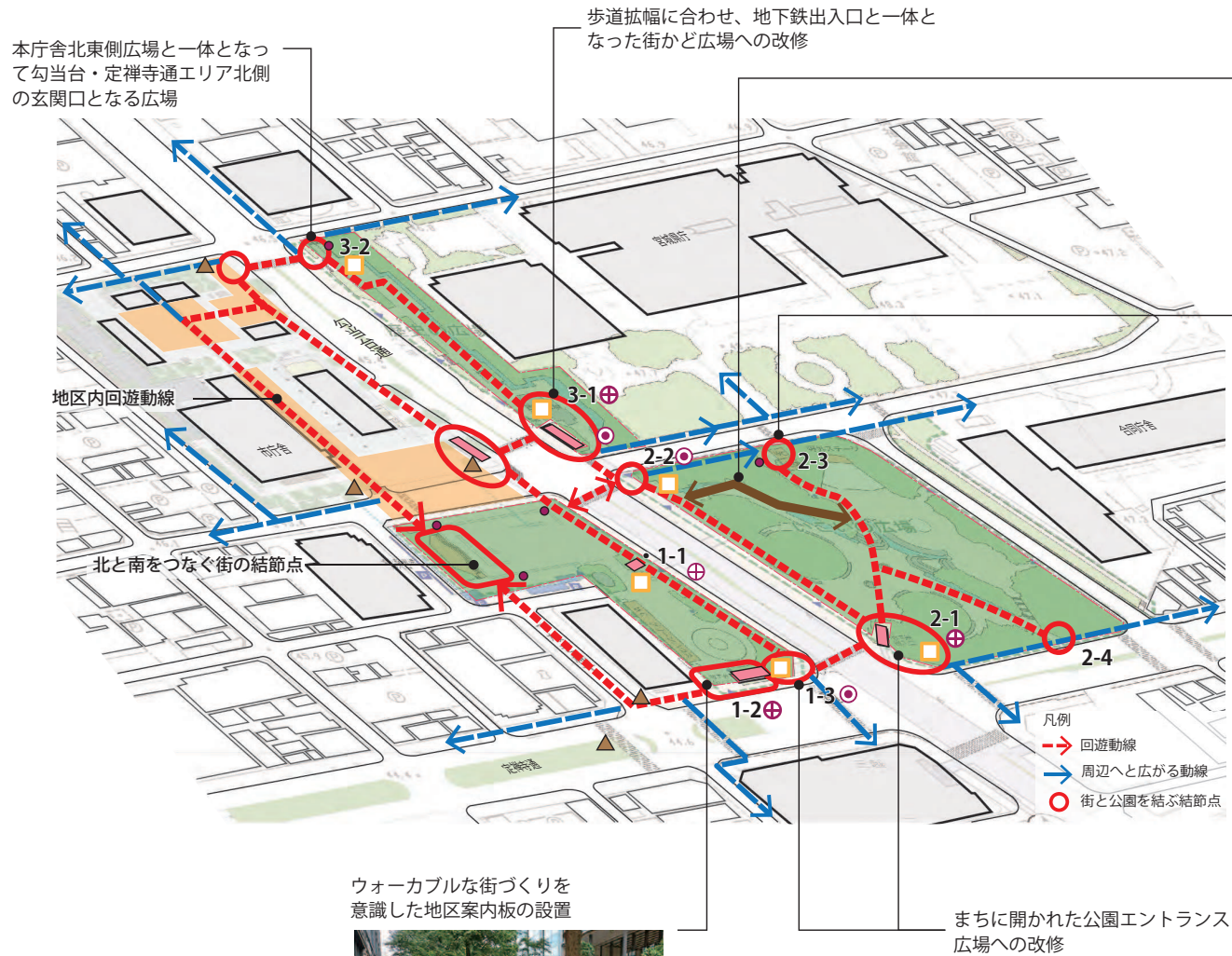
P: ニューヨーク, アメリカ

- ・くつろぎ広場  
斜面の水や緑を眺めながらいこい、くつろぐことのできる美しい芝生が広がる広場



仙: 東京ミッドタウン, 東京

6. 動線計画と整備の方向性



段丘上と下の広場を結ぶスロープ動線の検討



横断歩道位置に合わせた公園入口の改修



ウォーカブルな街づくりと回遊性向上に配慮した案内・誘導サイン計画

- 公園案内サイン
- 公園案内 + 地区案内サイン
- 案内板
- 誘導案内サイン
- 施設名サイン (施設計画に合わせて適宜配置)
- 公園区域外での地区案内、誘導サインの配置が想定される場所



7. グリーンインフラ方針と整備の方向性

・地下水・雨水の活用 → 都市インフラ(上水)への負荷低減

・緑陰効果の高い樹木の保全 → 暑熱化の低減、クールスポットの形成

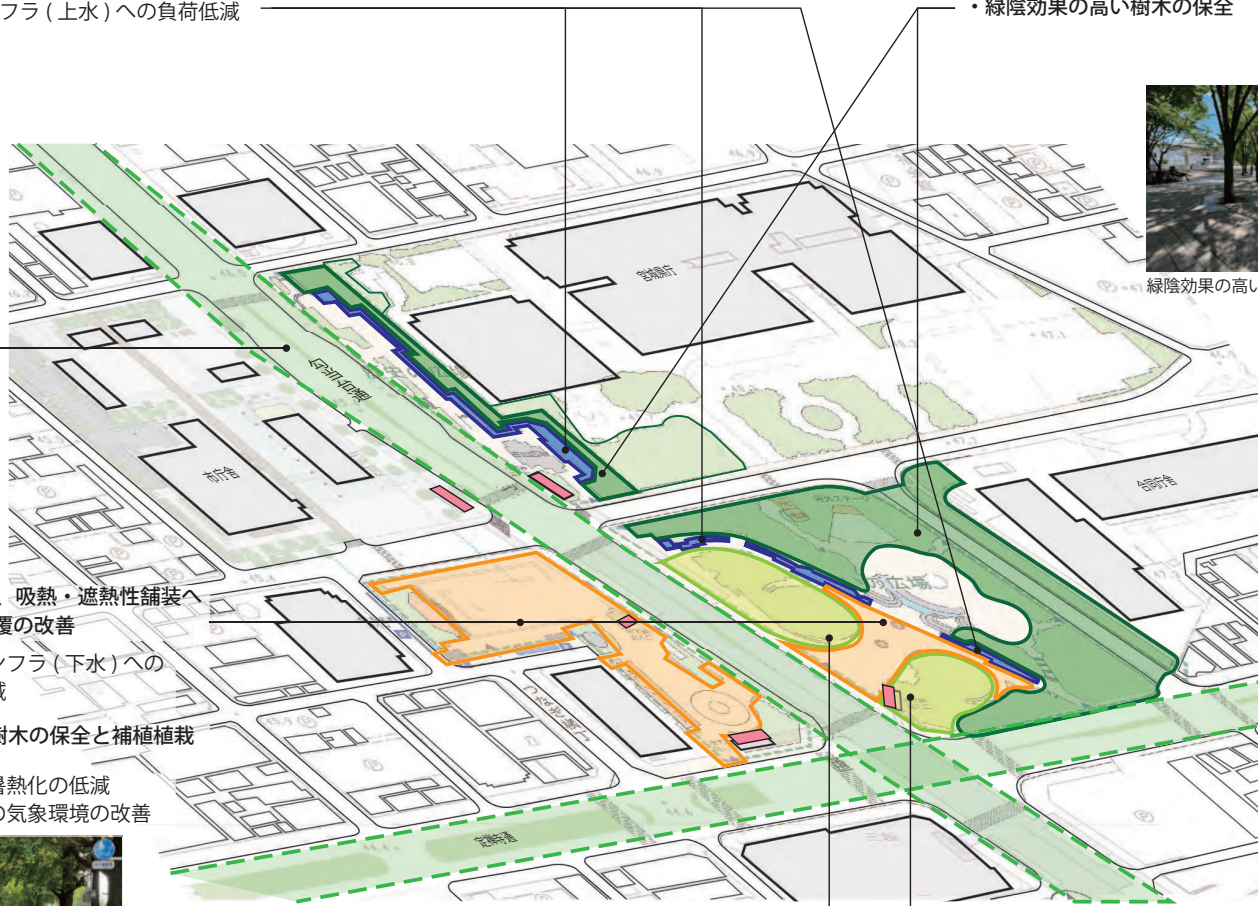
・みどりの回廊  
 → 生物多様性の確保  
 → 「みどりの回廊」と連なる杜の都にふさわしい本庁舎のみどりの整備

・舗装広場の透水化、吸熱・遮熱性舗装への転換など地表被覆の改善  
 → 都市インフラ(下水)への負荷低減

・緑陰効果の高い樹木の保全と補植植栽  
 → 広場の暑熱化の低減  
 都心部の気象環境の改善



緑陰効果の高い樹木



緑陰効果の高い樹木

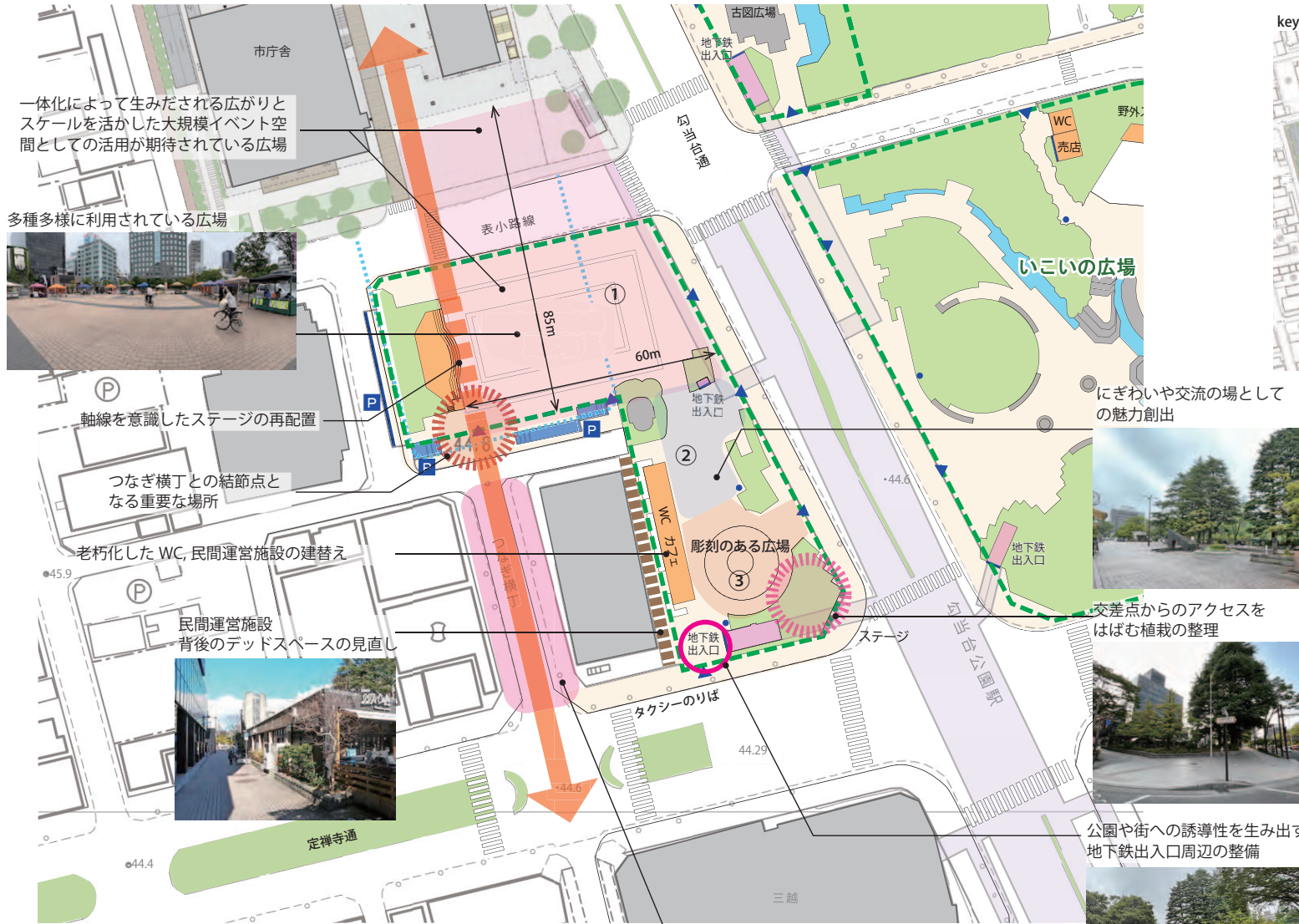


・植栽地面積の拡大による雨水浸透力の向上  
 → 都市インフラ(下水)への負荷低減  
 → 周辺既存樹木への水供給効果



P: ロッテルダム, オランダ

8-1. 施設配置に向けた着眼点 (にぎわいの広場)



一体化によって生みだされる広がり  
とスケールを活かした大規模イベント  
空間としての活用が期待されている  
広場

多種多様に利用されている広場



軸線を意識したステージの再配置

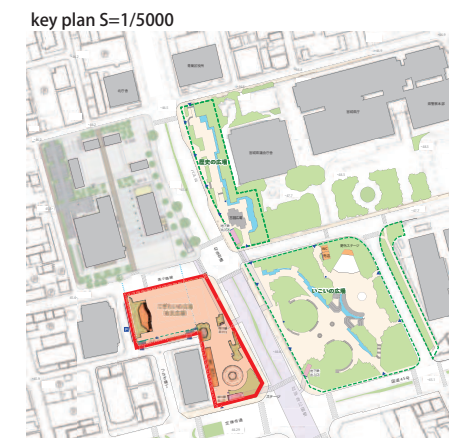
つなぎ横丁との結節点となる重要な場所

老朽化した WC, 民間運営施設の建替え

民間運営施設 背後のデッドスペースの見直し



まちと広場の一体感感じる軸線としての「通景」が特徴的であり広場等と一体的に活用できる「つなぎ横丁」への整備



にぎわいの広場は、  
①市民広場  
②地下鉄出入口（エレベーター）周辺  
③彫刻のある広場の3つの空間に分節されている。この3つの空間のスケールと構造を活かし、それぞれが魅力をはなつ広場として再構築することが望まれる。

にぎわいや交流の場としての魅力創出



交差点からのアクセスをはばむ植栽の整理



公園や街への誘導性を生み出す地下鉄出入口周辺の整備

